

豊川市の防災協力事業所登録

災害時に地域へ校舎開放

中部福祉保育医療専門学校

豊川市馬場町の「中部福祉保育医療専門学校」は29日、豊川市の防災協力事業所に登録した。

地域貢献の一環。災害発生時、学生や職員がボランティアで活動するほか、学校にある車いすやAED（自動体外式除細動器）を避難所などへ貸し出す。校舎を開放し、風呂やベッドを利用できるようにする。

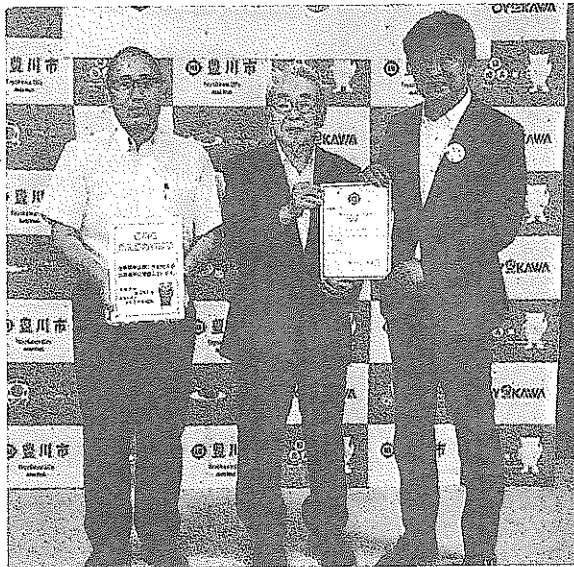
市役所に原基修校長、佐原君周事務局長が訪れた。原校長は「6月2日に豪雨が起きた。大地震もいつ発生するか分からない。

私たちの備品や人材を災害時に役立てます」と述べた。対応した

竹本幸夫市長が感謝し

た。制度は2015年に始まり、同校は51番目の登録。

【竹下真信】



認定書を持つ原校長(中央)ら
＝豊川市役所で

2023年8月31日発行
東愛知新聞